

2025MANIFESTO

NEXT 亀山

緑の八策

輝く、まち・ひと・未来。

ver.2

2025 - 2029
政策集

桜井
義之

決意

就任以来16年、市民に開かれた「希望と信頼の市政」を基本理念に、都市の「持続的な成長」と「小さくともキラリと輝くまち」をめざし、挑戦を続けてきました。

この間、人口減少・少子高齢社会の進展、スマート社会への移行、国際的な経済不況や未曾有の感染症ショックなどの激動する時代にあって、市民の皆さんの協力で乗り越え、着実な歩みを刻んでいくことが出来ました。新市施行から20年の節目を迎えた今、これまでの歩みを礎に、新しい挑戦が求められています。私たちは、地域共生社会の実現、都市活力の創造、DX・レジリエンスの強化、財政の構造改革などの目の前の政策課題を克服すると同時に、長期的な展望を踏まえた、明るい未来への基盤づくりを急がなければなりません。

誰もが健やかに暮らし幸福実感へとつながる「緑の健都」への歩みを、今ここで止めることはできません。今を生きる一人として「分度・推譲」の精神に基づき、今一度、本市の分度を定め未来へ繋げる道筋をつけることが、我が使命と考えるものです。

私たちが愛する・亀山市には、まだまだ成長の可能性と多くの魅力があります。恵まれた地域資源に磨きをかけ、子や孫、その先の世代へと継承するために。私は、ここに『NEXT亀山 緑の八策ver.2』を掲げ、その実現へ、全力を傾注する覚悟です。

桜井
義之



8つの重点政策

一策

「開かれた市政」にこだわる！

就任以来、希望と信頼の「開かれた市政」を基本理念に、情報共有、参画協働のまちづくりを進めてきました。新市施行20年の歩みを礎に、次なるステージには、新しい総合計画の立案と公開参画・市民協働の新しい仕組みへのアップデートが必要。急速に進展するDX(デジタル技術)を活用し、書かない窓口やオンライン手続きの拡充、行政経営の効率化・透明化を積極的に進めます。

- 市民参画による次期の総合計画の策定
- DX活用による、行政経営の効率化・透明性の向上
- 書かない窓口、オンライン手続きの拡充
- 郵便局との協働など、PPP手法による公民連携の拡大
- シビックプライドの向上へ、「亀山市まちづくり基本条例」の改正
- 市民の多様な声の分析、住民参加に生成AIなどの導入
- 「キラリまちづくりトーク」×「市民ワークショップ」による市民対話
- 市職員に自信と誇りを!

二策

「子ども」の笑顔と心を育む！

まちが明るい未来に向かうため、子どもたちの笑顔や子育てを支える環境・風土が大切です。近年、虐待・貧困など複雑化した課題への包括的支援、不登校支援や個別最適な学びに対応できる教福連携の環境づくりを継続・充実します。一方、民間給食センターと連携した「中学校全員喫食制給食」の実現、学校・幼保施設の計画的な改修、特別教室への空調設備の整備などを進めます。

- 誰ひとり取り残さない学びの環境づくり
- 令和8年春、中学校の「全員喫食制給食」の開始、小学校の自校方式の堅持
- 学校・幼保施設の老朽化対策の推進、特別教室等への空調設備100%の整備
- 子どもの生きる力を育む、読書活動・デジタル活用・体験活動の充実
- 「こども家庭センター」×「子育てコンシェルジュ」のワンストップ相談
- 物価高騰による保護者負担の軽減のため、学校給食費等の支援
- 不登校児童生徒のサポート・選択肢の充実、県立夜間中学通学への財政支援
- 新児童センターの開設、児童発達支援センターの設置支援

中部・近畿両圏の結節点に位置する優位性を強みに、令和に入り12社の企業立地を実現。まさに今、新名神の開通をはじめ将来のリニア構想・鈴鹿亀山道路など、亀山市のポテンシャルはさらに高まっています。未来を見すえて、リニア中央新幹線による広域交流拠点を確実にするとともに、この好機を逃すことなく多様な産業構造・雇用を創出。次なる活力と未来の飛躍につなげます。

- 新しい産業団地の確保、半導体・健康医療・商業など成長分野の企業立地の促進
- リニア新幹線の環境アセスメントの促進、ルート&駅位置の早期確定へ
- 鈴鹿亀山道路、R306川崎庄内バイパスなどの交通インフラの整備促進
- 亀山ブランドの海外展開、創業支援・空き店舗の活用支援
- 自然を生かしたグリーンツーリズム、観光と食と農林業との融合
- 中小事業者へのエネルギー価格高騰対策として、臨時交付金の活用による支援
- 関西線の名古屋-伊賀上野間の直通列車の実現、紀勢線のICカードなどの活性化

都市の価値と魅力は、環境・産業・文化・教育・共生などの多岐にわたる要素によって形作られます。亀山市は、これら多彩な要素がうまく結びつくことによって、心地よい「ウェルビーイング」を実現します。日々の暮らしが地域社会と調和し好循環へとつながることで、誰もが健やかに暮らし、住み続けたいような「緑の健都」をめざします。

- 小さくともキラリと輝くまち、「緑の健都 かめやま」への挑戦
- 「歴史まちづくり」の推進、東海道57次の付加価値と関宿の魅力の向上
- 公園・公共空間の再生、子育て世代が住みたいと思うまちづくり
- コンパクトで快適な中心的市街地「亀山駅周辺エリア」のにぎわい再生
- 防災・減災・国土強靱化対策、流域治水・空き家対策など「レジリエンス」の強化
- 農水省「緑の食糧戦略「オーガニックビレッジ宣言」への検討開始
- ゆとりある亀山Quality、「ワークライフバランス」の深化

現役・シニア世代の誰もが、生涯にわたり住み慣れた地域で健やかに暮らしたいと願っています。『ひとりぼっちをつくらない』を合言葉に、安心の地域共生社会を構築します。一方、若者・子育て世代の妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援へ。母子保健センターの創設、産後ケアの拡充、医療センター・関係機関とも連携した「周産期医療」の強化をはかります。

- 「母子保健・産後ケア」の拡充、周産期医療の抜本的な強化
- オーダーメイドの福祉「亀山版・重層的支援体制」のさらなる進化
- 「健康都市大学」の充実、健康応援隊・健都サポーター等との協働
- 市立医療センターの診療科増設への検討開始
- 高齢者の在宅医療・介護予防・フレイル対策の充実
- 地域公共交通の仕組みの再構築、「のりかめさん」の利便性向上
- 待ったなしの物価高騰対策、非課税世帯へのプッシュ型給付
- 禁煙・卒煙への支援プログラムの創設、受動喫煙対策の向上

亀山市は、鈴鹿山系や鈴鹿川に代表される豊かな自然環境との共生、循環型の快適な生活空間を、先人からの長きにわたり大切に育んできました。今日、市民の高い環境意識は、地域に根差した自然や文化などと調和した日々を重んじ、それらを将来世代へ継承させていこうという責任と気品に満ちています。私たちが愛してやまない、このまちの「森と水」を守り、未来へと伝えます。

- 鈴鹿川源流域の環境の保全・文化の継承
- 県下一、おいしく安価な水道水を安定供給
- 亀山7座+野登山のスギ林の保全活動等の支援
- 全国をリードする「亀山版・OECM認定制度」の定着
- ごみ処理施設「環境センター」の更新計画の策定
- 太陽光発電に対する規制強化、亀山市ポイ捨て条例(通称)の改正
- 地域をあげた獣害対策への支援強化
- 森林経営管理システムの着実な展開

「地域力と文化力」を磨く！

新市施行から20年。様々な分野で市民活動や地域活動が活発化し、市民力で地域力が輝くまちづくりが進んでいます。地域予算制度などのバージョンアップ、市民協働センター「みらい」の機能強化によって、個性ある地域力を応援します。一方、アートが生まれる街など「かめやま文化年」を新たな展開につなげ、全国ここにしかないオンリーワンの「地域力と文化力」を磨きます。

- 市民協働センター「みらい」の機能強化
- 地域まちづくり協議会、地域予算制度のバージョンアップ
- 「ちょこボラ」の体制づくり支援、「市民活動応援制度」の見直し
- 市民活動・地域活動を支える、担い手の発掘・育成支援
- 「かめやま文化年」の継続・発展、「アートが生まれる街」のPR
- 「亀山納涼会」「あいあい祭り」のリニューアル大作戦

未来へ「ツケ」は回さない！

近年の国際情勢・社会情勢の変化による、価格高騰や人件費上昇等で膨らむ歳出は、自治体の財政運営に影響を及ぼしており、本市においても財政収支バランスの崩れに直面しています。財務構造の早急な改善に向け、あのリーマンショック以降の厳しい局面を、皆さんの協力と「分度・推譲」の精神で乗り越えられたように、今一度、強い意思をもって「財政構造改革」に取り組みます。

- 二宮尊徳の「分度・推譲」の精神の実践
- 4つの大規模事業(新庁舎・新環境センター・新し尿処理施設・学校教育施設)の対応方針を早期に確立
- 方針・検証を踏まえ、「新庁舎の整備手法」などを再構築
- 骨太方針の集中改革期間(~2026)における聖域なき歳出削減
- 未利用地の売却、「ふるさと納税」の3倍増の達成
- 14年間続けてきた、市長の給与・退職金の削減(5%・20%)を継続

+2緊急プロジェクト

「教育のまち亀山のDNA」継承プロジェクト

かつて女子師範学校が置かれ「教育のまち」と称された亀山。現代もなお、その精神がまちに息づいています。その一方、近年、地域や家庭の教育力の低下が顕著な中、地域社会全体で教育を支えてきた有形無形のチカラ「教育のまち亀山のDNA」を、次代へと継承していく場づくりが喫緊の課題であり、「オール亀山」の英知の結集と協働を進めます。

「財政構造改革」推進タスクフォース

どんなに素晴らしい政策でも、それを実現する力が不可欠です。また、財源の裏付けのない希望や評論を述べるだけの施策は、意味をなしません。現時点での財政見直しにおいて、今の水準を維持すれば、近い将来には財政調整のための基金が底をつき、以後の市民ニーズに応えられなくなることが予測されます。その回避に向け、全庁あげた「財政構造改革」を進めています。

すべては未来のために。

桜の会

桜井よしゆき事務所

〒519-0118 亀山市北町9-1

TEL/0595-97-3570

FAX/0595-97-3580

<http://sakura-net.biz>

本政策集は、桜井義之の政策協約のダイジェスト版です。各政策の詳細は、公式ホームページでご覧いただけます。



桜井義之 プロフィール

- 昭和38年2月25日生まれ(61歳)
- 亀山中学・神戸高校・関西大学 卒業
- 三重県議会議員(4期)・亀山市議会議員(1期)
この間、三重県議会副議長(第101代)・予算決算特別委員長・三重県監査委員などを歴任
- 亀山市長(4期)
三重県市長会長・三重県市町村職員共済組合理事長などを歴任
現在、健康都市連合日本支部長・全国伝統的建造物群保存地区協議会理事・鈴鹿亀山地区広域連合副連合長・三重県軟式野球連盟副会長などで奮闘中
- 座右の銘・着眼大局着手小局